

月間報告書_10月

グラスゴー大学
プロダクトデザインコース

9月7日、羽田発グラスゴー行き、22時間のフライトを経て私の留学生活がスタートしました。私は地方出身なので両親には数日前に見送られ、空港には叔母家族が来てくれました。途中でドバイ国際空港を経由したのですが、乗り換え先からの座席が確定していなかったため、他の旅行者と別れて一人地下鉄に乗り、ターミナルを移動しました。現地時間午前4時ということもあり人気はなく、周囲を見渡したときはじめて緊張が解け、寂しさを感じました。

現地に着いてからは、同じ大学に通う友人と合流し、しばらくホテルで仮住まいをした後、グラスゴー美術大学の学生寮の入居が決まり、そちらに引越しをしました。大学の側にあり、買い物する場所も近く、清潔なのでとても気に入っています。また、キッチンのみ共用なのですが、フラットメイトたちが毎回きちんと水回りを清潔にしてくれることもとても気に入っています。

学校は予告通り、9月13日からガイダンスが始まりました。イギリスの文化なのでしょうか、説明は1から10までとにかく細かく行ってくれます。授業は翌週から始まり、最初の課題は「new」をテーマにした動画を作り、一週間後に発表会をしました。日本とはややジョークのセンスは違いますが、インパクトある映像をテンポよく使った映像が多く、とてもわかりやすいので発表会はずっと笑っていました。

9月第3週から Brand X という課題が開始しました。現行の技術発達、社会背景の移り変わりから20年後の生活を予測し、5年後の近い未来のプロダクト群を提案するデザインシンキングを基礎とした授業です。英語でのディスカッションにまだまだ不安は多いですが、イラストを使ってなんとか意思伝達を行っています。

最後にもしかしてこれが一番エネルギーを使っていることのお話をします。友人と会話をしている言葉のチョイスが少し違ったり、スーパーマーケットで買った野菜が不思議な味がしたり、寮で洗濯機が使いにくかったり、小さなことを通してそのものの背景がすごく気になります。歴史を調べたり、料理本を読んだり、家電量販店に行ったり、人と話し合ったり、少しずつ理解していきたいと思います。



バスで1時間ほど移動したエジンバラに週末を利用して行きました。



イギリスには教会がたくさんあります。